

中央フェスティバルウィークにあたって

2学期最大の行事「中央フェスティバルウィーク」が、令和6年度のスローガン「Re:joicing」を掲げて始まります。

これまで、生徒会や実行委員の皆さんが中心となって企画・立案し、念入りに準備をしてきてくれました。本当にありがとうございます。各々が創意工夫を凝らし、協力して準備を進めている姿を見て、嬉しくも頼もしくも感じています。

長い準備期間をかけて、学校を挙げて文化祭を開催する目的は、生徒の皆さん一人一人が自分たちの思いを形にし、自己表現をする機会を設けることにあります。また、他の人たちの作品や表現を受け止め、その思いを理解しようと努めることもまた、意味のあることです。

今年のスローガンは「Re:joicing」、素敵な言葉だと感じています。「喜び、お祭り騒ぎ」を意味するこの言葉ですが、接頭辞の「Re」には「再び」という意味があります。長かったコロナ禍や、これまでの皆さんのさまざまな経験・思いを胸に、それらを乗り越えたところにある「喜び」の時間を共有できたら嬉しく思います。

心に残る「中央フェスティバルウィーク」になることを心から願っています。

校長 長谷川 哲司